

プレスリリース

2019年4月吉日

茨城県笠間市笠間 978-4
公益財団法人 日動美術財団
笠間日動美術館

写実絵画のいまむかし

2019年5月25日（土）～7月28日（日）



五姓田義松《人形の着物》1883年

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■ 開催趣旨

目に見える世界を写す、これは絵画制作の原点とも言える行為です。ではなぜ私たちは世界を写し、また写された世界を観たいと感じるのでしょうか。それは、この世界を「再現」する行為自

体に、計り知れない魅力があるからかもしれません。

本展は「写実」をキーワードに、日本の近代から現代にかけての美術をご紹介します。油絵の具の登場によって、より迫真的な表現が可能となった幕末明治、そもそも「リアリティー」とは何か、を画家たちが追求した戦前、そして本物と見紛う静物画や体温をも感じさせる人物画、白昼夢のような風景画を展開する現代。それぞれの時代に画家たちが追い求めた「写実」の世界をご覧ください。

■出品作品（敬称略・生年順）

五姓田芳柳、高橋由一、百武兼行、川村清雄、五姓田義松、渡辺幽香、曾山幸彦、松岡 寿、二世五姓田芳柳、中村不折、岡 精一、佐久間文吾、湯浅一郎、渡部審也、北 蓮蔵、岡本桃乞、岩田栄吉、高塚省吾、奥谷 博、伊牟田経正、野田弘志、森本草介、城戸義郎、桜田晴義、藤井勉、今井充俊、陶山 充、西房浩二、島村信之、諏訪 敦、安西 大、小木曾誠、山本大貴、橋本大輔、他



高橋由一《丁髷姿の自画像》
1866-67年



チャールズ・ワーグマン
《百合図》1878年



渡辺幽香《房州根本海岸》1897年



川村清雄《パレスレイケン像》



森本草介《微睡の時》1984年



島村信之《泰》2010年



山本大貴《ノエマの森にて》
2019年

■ 展覧会概要

- ・ 展覧会名 写実絵画のいまむかし
 - ・ 会期：2019年5月25日（土）～7月28日（日）
- ・ 会場 笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間 978-4）
- ・ 開館時間 午前9時30分より午後5時（入館受付は午後4時30分まで）
- ・ 休館日 毎週月曜日
（但し7月15日は開館、7月16日は休館。）
- ・ 入館料 大人1000円、65歳以上800円、大学・高校生700円、中学以下無料
春風萬里荘（北大路魯山人旧居）との共通券：
大人1,400円、65歳以上1,100円、大学・高校生900円、中学以下無料
割引：20名以上の団体は各200円割引、障害者手帳をお持ちの方、
その同伴者1名は各半額割引
- ・ 主催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
- ・ 後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会
NHK水戸放送局／茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社
産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局
読売新聞水戸支局

■ 会期中のイベント

- ・ ギャラリートーク：5月25日（土）、6月15日（土）、7月6日（土）
各日14:00～（30分程度）
- ・ 春風萬里荘の七夕飾り：6月23日（日）～7月7日（日）まで
- ・ プチコンサート「WindQuintet SORA」：7月14日（日）14:00～15:00

■ 交通案内

[JR利用]

- ・ 常磐線友部駅北口(9:55/10:50/11:50発)より『かさま観光周遊バス』(100円)
または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩1分
- ・ 水戸線笠間駅より徒歩約25分（日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆）
『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。

[自動車利用]

- ・ 常磐道友部JCT経由、北関東道友部ICより国道355号線経由約6km
- ・ 東北道栃木都賀JCT経由、北関東道笠間西ICより国道50号線経由約8km

[高速バス利用]

- ・秋葉原駅中央改札口前、東口交通広場 8 時 20 分発で約 2 時間
「笠間稻荷神社入口」下車徒歩 5 分 片道 1600 円、往復 2800 円

■ 問い合わせ先

担当：写実絵画のいまむかし：西尾

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

TEL：0296-72-2160 FAX：0296-72-5655

MAIL：m-nishio@nichido-museum.or.jp(西尾)